

令和3年度 事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

社会福祉法人

多可町社会福祉協議会

令和3年度 事業報告

令和3年度は、「第4次地域福祉推進計画（あったかささえあいプラン）」（令和3年度～令和7年度）の初年度であり、基本目標「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け4つの推進目標と5つの活動目標を設定し、これを基に福祉活動を展開いたしました。4つの推進目標の内「きづく」「つながる」「ささえあう」の3点を重点活動と定め、その重要性をさらに地域へ広げるため、活動目標である5つの「ほっとけない」に取り組みました。

上記記載の重点活動3点をとおし、集落の小さなニーズをみんなで共有することにより、みんなの課題として認識し、住民の支え合い活動やサービスにつなぐ足掛かりになるよう、集落における話し合いの場の推進に努めました。そして、その課題や解決に向け具現化するための研修会を開催しました。

また、集落でのつどいの場を広げていくことを目的として、高齢者向けのレクリエーションについて学ぶための研修会や、公共交通を普段から利用し慣れることにより、通院や買い物の移動手段として使うことができるように、バスの乗車体験会も行いました。

その他、コロナ禍で中止せざるを得ない事業もありましたが、その転換事業として、集落での活動、災害時等幅広く活用していただけるように、車いすを集落に各1台寄贈しました。

また、介護事業においては、利用者個々のニーズに合ったサービスを提供し、関係機関と連携を図ることで、在宅生活を支援することができました。

以下、令和3年度の各事業等について報告します。

基本目標 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

多可町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を住民のみなさんと一緒に進めるため、基本目標を「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と掲げています。

推進目標

基本目標を実現するために、4つの推進目標を設定しています。

- 【1】 きづく（重点活動）
- 【2】 つながる（重点活動）
- 【3】 ささえあう（重点活動）
- 【4】 ささえる

活動目標

基本目標と推進目標を進めるため、下記の活動目標を設定しています。これを基に福祉活動を展開しました。

- 【活動目標1】 地域づくりをほっとけない！できる助け合いが健康長寿への道
- 【活動目標2】 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！
- 【活動目標3】 できないことをほっとけない！
社会福祉法人や商工会、ボランティア団体などとの連携を図ります
- 【活動目標4】 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発
- 【活動目標5】 ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり

■福祉学習の推進（推進目標1／きづく）重点

福祉に関心を持ってもらい、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ボランティアや当事者などの協力を得ながら地域や学校で福祉学習を行いました。今年度杉原谷小学校において知的・発達障害者疑似体験を啓発隊「ぐうちよきばあ」の協力を得て初めて行いました。

また、町内の学校・認定こども園・キッズランド等の福祉学習事業に対して助成を行いました。

《学校での福祉学習の開催》

	小学校	特別支援学校
今年度実施回数	5校 38回	1校 2回
前年度実施回数	5校 36回	0校 0回

実施団体	実施回数	内容
中町北小学校	8回	ボランティア学習、高齢者疑似体験、車いす体験、手話体験、手話歌学習、点字体験、アイマスク体験、サウンドテーブルテニス体験、朗読体験、知的・発達障害疑似体験
中町南小学校	9回	
杉原谷小学校	8回	
松井小学校	7回	
八千代小学校	6回	
北はりま特別支援学校	2回	視覚障害体験、車いす体験

※杉原谷小学校と松井小学校では、それぞれ1回ずつ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されました。

《学校・認定こども園・キッズランド等への助成》

	助成団体数	助成額
今年度助成実績	13団体	635,000円
前年度助成実績	14団体	685,000円

助成団体	助成額	内容
北はりま特別支援学校	35,000円	プランター交流
多可高等学校	50,000円	ちいきふれあいプロジェクト、福祉学習等
中町北小学校	50,000円	福祉学習
中町南小学校	50,000円	福祉学習、学習のまとめ
四恩こども園	50,000円	地域の高齢者への年賀状送付、発表会、運動会
杉原谷小学校	50,000円	福祉学習
松井小学校	50,000円	福祉学習、ふれあい弁当包装紙づくり
キッズランドかみ	50,000円	運動会、さつまいもの苗植え、焼きいも
八千代中学校	50,000円	施設慰問等のための備品
八千代小学校	50,000円	福祉学習
キッズランドやちよ	50,000円	さつまいも栽培、収穫祭、祖父母参観等
ちびっこランドらくえん	50,000円	野菜等栽培交流、地域の人との交流等
子育てふれあいセンター	50,000円	たかっこフェスタ、ふれあい交流等

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■生活支援体制整備事業

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる、推進目標3/ささえあう) 重点

生活の中での課題や困りごとを住民相互の関わり合いの中から解決していくことを目的として、集落での「ふくし防災マップ(宝物マップ)」づくりやアンケート調査等の支援をとおして、集落における話し合いの場の設置を推進しました。

また、集落における活動を始めるための研修会(基礎編)を開催するとともに、集落における助け合いの必要性をまとめた「つながる“わ”」を社協だより多可に毎月掲載、「つながる“わ”」の特別号を2ヶ月に1回作成し、地域づくりを促進しました。

ふくし防災マップづくりやアンケート調査などの具体的な活動や定期的な話し合いの場を開催する集落の目標値を15集落と定め支援をしました。

なお、活動している集落が抱える課題に対して、その解決に向けた取り組みを具現化するための研修会(応用編)を3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止によるまん延防止等重点措置発令のため中止としました。

《集落等での活動の実施》

	今年度	前年度
実施回数	17回	16回

実施集落等		実施回数	内容
中町北小学校区	門前	1回	ふくし防災マップづくりの開催
中町南小学校区	曾我井	1回	役員会で話し合いの場設置のための説明
杉原谷小学校区	丹治	1回	住民向け福祉理解研修会での福祉的ケアが必要な人への対応について
	三谷	1回	役員会で協議体づくりの依頼
松井小学校区	豊部	2回	老人クラブ役員会で協議体づくりの依頼
			ふくし防災マップづくりの開催(役員向け)
	寺内	3回	寺内お助け隊についての話し合いに参加
			住民向け福祉理解研修会での福祉的ケアが必要な人への対応について
西脇	1回	今後の助け合いの仕組みづくりについての話し合いに参加	
八千代小学校区	赤坂	1回	白地図を使った災害時要支援者の確認作業の見学
	中三原	1回	役員に協議体設置のための説明
地域共生研修会		5回	集落住民を対象としたアンケートの実施
			小学校区ごとに地域共生に向けての依頼

《具体的な活動や定期的な話し合いの場を開催する集落》

	集落数	校区名	集落名
今年度	14集落	中町北小	門前、天田
		中町南小	曾我井、中安田
		杉原谷小	西山、市原、丹治
		松井小	豊部、熊野部、的場、寺内、西脇
		八千代小	赤坂、中三原
前年度	8集落	中町北小	天田
		中町南小	中安田
		杉原谷小	西山、市原、丹治
		松井小	的場
		八千代小	下三原、中三原

《活動支援件数》

	今年度	前年度
協議体づくりの依頼	352件	161件
協議体運営支援	132件	14件
ニーズ把握	290件	7件
集落行事に参加	28件	11件
その他の相談	213件	25件
合計	1,015件	218件

《研修会の開催》

	開催日	参加者数	開催場所
研修会（基礎編）	12月11日	41名	中プラザ
研修会（応用編）中止	3月6日	—	八千代プラザ

※3月に開催予定であった研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるまん延防止等重点措置発令のため中止しました。

財源	町受託金
----	------

■生きがい活動支援通所事業の実施（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、在宅で生活しているおおむね65歳以上の高齢者が家に閉じこもりがちにならないよう、集落の公民館等で地域介護予防講座を開催し、「いきいき百歳体操」の普及啓発を行うことによって、つどいの場の拡大と心身機能の維持向上に努めました。

開催場所	集落公民館等/春蘭荘
------	------------

今年度実施回数	59回（中区 22回、加美区 33回、八千代区 4回）
前年度実施回数	66回（中区 15回、加美区 40回、八千代区 11回）
今年度参加者数	938名（中区 376名、加美区 515名、八千代区 47名）
前年度参加者数	1,096名（中区 251名、加美区 713名、八千代区 132名）

財源	町受託金、利用料
----	----------

※4月～6月、8月～9月の新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令中、1～3月のまん延防止等重点措置発令中は延期または中止しました。

■特別支援学校への支援（推進目標1／きづく）

障がいや特別支援学校を地域の人に理解してもらうため、学校行事の際にボランティアの派遣をし、さつまいもの苗植え、さつまいも掘り、クリーンキャンペーンを通じた交流を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

■社協だより多可、たかテレビ等による情報発信（推進目標1／きづく）**重点**

社協だより多可、ホームページは、「見やすく」「分かりやすく」、タイムリーな情報提供ができるよう工夫しています。また、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）も利用し情報がより多くの住民に届くよう努めました。ホームページにおいてはよりセキュリティが強く安心なサイトとなるよう、リニューアルを行いました。

さらに、たかテレビの『あっ！たかインフォ』などを活用し、社協活動を積極的にPRしました。また、LINE（ライン）による情報発信の追加を検討し、令和4年度から追加します。

媒体	今年度発信回数	前年度発信回数
社協だより多可	12回	12回
社協ホームページ	39回	46回
Facebook、Twitter	199回	174回
たかテレビ「あっ！たかインフォ」	11回	12回

《たかテレビ「あっ！たかインフォ」で放送したもの》

- ・小学校向け福祉学習
- ・地域福祉推進計画・社協ガイド
- ・社協会費
- ・生活支援体制整備事業（2回）
- ・多可町社協クイズ（パート3）
- ・赤い羽根共同募金
- ・歳末たすけあい募金
- ・福祉機器・福祉車両貸出
- ・ボランティア募集
- ・地域福祉活動助成事業

※あつたかわくわくスタッフ支援事業も放送予定でしたが、収録後、事業が新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令のため延期となり、放送を中止しました。

財源	社協会費、介護保険事業繰入、善意銀行
----	--------------------

■社協ガイドの作成（推進目標1／きづく）

社協活動や事業を地域の方に理解してもらうために社協ガイドを作成し、全戸配布しました。また、7月の民生委員・児童委員協議会各支部において社協ガイドの説明を行いました。

財源	社協会費
----	------

■介護者だよりの発行（推進目標1／きづく）

介護に役立つ情報や介護者の会の活動をお知らせするために「介護者だより」を毎月発行し、町内の介護者に配布しました。

《介護に役立つ情報（介護のポイント）に掲載したもの》

- ・多可町介護者の会の紹介・報告
- ・車いすの介助方法
- ・熱中症対策
- ・災害時に認知症のある方と避難するための方法
- ・転倒予防のストレッチ
- ・免疫力を高める方法
- ・介護うつ
- ・おせち料理の工夫
- ・認知症予防
- ・声かけ方法による認知症の症状変化

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■社協まつりの開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

福祉についての理解と関心を高め、地域の支え合い・助け合い、福祉のまちづくりについて考える機会とするため、地域住民や各種団体・関係機関等と連携し開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

開催予定日	7月25日（日）中止
開催予定場所	ベルディーホール

■車いす寄贈事業（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）追加・新規

中止とした社協まつりの代替事業として、車いす寄贈事業を実施し、集落での行事や災害時など幅広く活用できる車いすを集落へ寄贈しました。

財源	赤い羽根共同募金配分金、介護保険事業繰入、善意銀行
----	---------------------------

■バス乗車体験会の開催（推進目標1／きづく）新規

今後、通院や買い物のための移動手段の一つとして、公共交通機関であるバスの利用に親しんでもらうため、バスの乗車体験会を開催しました。杉原谷小学校区と八千代小学校区の一部の集落を対象に、バスに乗車し、バス利用に関する話や買い物、昼食をしました。

	開催日	参加者数
1回目	11月10日、19日	22名
2回目 中止	3月14日、18日	—

※2～3月に開催予定であった2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるまん延防止等重点措置発令のため中止しました。

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、参加費
----	---------------------------

■各種ボランティア養成講座、研修会等の開催（推進目標1／きづく）**重点**

ボランティアの育成やスキルアップ、またボランティア相互の交流を図るために、各種講座や研修会、交流会を開催しました。講座等ではアンケートなどを実施し、ボランティア依頼や次回講座のための参考にしました。

朗読・古切手再生体験は、若い世代へのボランティア活動の啓発と将来のボランティア活動につなげることを目的として初めて開催しました。

今年度開催回数／延べ参加人数	7種 19回 延べ 108名参加
前年度開催回数／延べ参加人数	3種 15回 延べ 57名参加

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
点訳ボランティア養成講座	6月19日～ ※全12回。	35名	播磨内陸生活文化総合センター（ドウジアム）
介助ボランティア養成講座（ガイドヘルプ）	6月29日	10名	八千代プラザ
朗読・古切手再生体験 新規	8月7日	15名	社協本部
傾聴ボランティア養成講座	11月19日 11月26日	16名	社協本部
介助ボランティア養成講座（車いす介助）	11月22日	4名	八千代プラザ
ボランティア交通安全教室	12月14日	22名	八千代プラザ
ボランティア研修会	—	—	—
リスナーとボランティアのつどい	—	—	—
発達障害者支援 ボランティア養成講座 新規	3月26日	6名	社協本部
障害者支援ボランティア養成講座	—	—	—

※ボランティア研修会、リスナーとボランティアのつどい、障害者支援ボランティア養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

財源	県社協補助金、県社協受託金、介護保険事業繰入、善意銀行
----	-----------------------------

■ボランティアに関する相談・コーディネート・支援 （推進目標1／きづく、推進目標3／ささえあう）

ボランティアセンターにおいて、活動に関する相談の受付、調整、支援を行いました。

活動内容	事業名（依頼先）	今年度 派遣 回数	今年度 延べ 派遣 人数	前年度 派遣 回数	前年度 延べ 派遣 人数
調理・配送・回収	ふれあい型給食サービス	19回	364名	19回	393名
交流	障がい者の事業所と ボランティアの交流、 障害者とボランティアの つどい	15回	15名	23回	60名
訪問	地域見守り訪問	18回	38名	16回	41名
介助	青い鳥学級	1回	3名	3回	11名
託児	健康課 生涯学習課 子育てふれあいセンター 多可町社会福祉協議会	7回	14名	4回	7名
運転	外出支援サービス	251回	251名	218回	218名
運転・介助	買い物ツアー、 介護予防教室	84回	180名	72回	187名
音訳	朗読CD・テープの貸出	48回	302名	48回	360名
行事手伝い	多可町介護者の会 子育てふれあいセンター	2回	4名	6回	15名
補助	学校向け福祉学習、 元気あつぷ広場	37回	71名	33回	60名
合計		482回	1,242名	450回	1,368回

※運転の外出支援サービス、音訳、補助（学校向け福祉学習）以外の活動は、4月～6月、8月～9月の新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令中、1月～3月のまん延防止等重点措置期間中は派遣を中止しました。

■ふれあいいきいきサロン活動の支援

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点・拡充**

地域住民が気軽に集まり、つながりと生きがいを持ちながらお互いに助け合い、誰もが地域でいきいきと安心して暮らせることを目指し、サロンスタッフ研修会の開催、レクリエーション遊具の貸出、活動経費の一部助成、新規サロン立ち上げ時の助成、サロンに関する各種相談など、サロンへの支援を行い、多くの地域でサロンが開催されるよう努めました。特に、開放型サロンや集落に見合った見守りが期待できるようなサロン開設に向けて啓発を行いました。

今年度は、年4回以上実施計画サロンへ25,000円、年2～3回実施計画サロンへ10,000円と増額し、よりサロンの充実と開催回数が増えるように支援しました。

また、定期的にサロンスタッフのためのサロン（スタッフサロン）を開催し、気軽に情報交換できる場を作りました。

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
サロンスタッフ研修会	4月10日	42名	ベルディーホール
スタッフサロン	7月28日 10月27日	11名	加美プラザ 八千代プラザ

	サロン数	実施回数	活動助成件数
今年度実績	33地区	130回	33件
前年度実績	37地区	86回	37件

新規立ち上げ助成	内容
坂本いきいきサロン（八千代区）	ラジカセ、CDシステム

財源	社協会費

■あつたかわくわくスタッフ支援事業の開催

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **新規**

集落でのつどいの場を広げていくことを目的として、ふれあいいいきいサロンのスタッフ、老人クラブの役員、集落内の各種団体役員等、小規模な集まりを企画、実施する立場にある方を対象に、高齢者向けのレクリエーションについて学ぶための研修会を開催しました。

	開催日	参加者数	開催場所
今年度実績	11月20日	22名	社協本部

財源	赤い羽根共同募金配分金

■障がい者の事業所とボランティアの交流

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる)

交流を通して、障がいや事業所への理解を地域に深めました。対象は町内9つの事業所や多可町作業所連絡会です。

	今年度 助成額	今年度 実施回数	前年度 助成額	前年度 実施回数
一般社団法人S-CUBE	60,000円	10回	60,000円	10回
NPO法人みどり会	30,000円	2回	60,000円	10回
NPO法人やちよ	60,000円 →22,408円	3回	60,000円 →11,042円	3回
多可町作業所連絡会	100,000円 →全額返金	—	100,000円 →全額返金	—

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■ハートフルツアーの開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

身体・知的・精神障がい者を対象に、社会参加や親睦・交流を図ることを目的として3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

■子育て支援活動助成事業の実施（推進目標2／つながる）

子育てふれあいセンターが実施する子育て親子の交流事業が充実することを目的として、100,000円の助成を行いました。

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■子育て応援クリスマスプレゼント事業の実施（推進目標3／ささえあう）

多可町の提唱する「子育てするなら多可町」を推し進め、子育て世帯のリフレッシュを目的に、新生児の生まれた世帯に対しクリスマスプレゼントを配布しました。

	申請者数	配布者数
今年度実績	58名	57名
前年度実績	62名	56名

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■視覚障がい者への支援（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

視覚障がい者の情報保障として、社協だより多可、広報たか、議会だよりなどを朗読CD・テープへ吹き込み、視覚障がいのある希望者へ毎月届けました。また、多可町図書館にも貸出用として設置し、希望者への貸出を行いました。

	利用者数	延べ発送件数
今年度実績	12名	127件
前年度実績	11名	121件

■障がい者スポーツ大会の開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、身体・知的・精神障がい者が、お互いの交流と親睦を深め、障がい者の社会参加意欲の高揚と体力の維持増進を図ることによって、障がい者の自立更生に寄与するとともに、スポーツを通じ住民の障がい者に対する理解と認識を深め、ともに生きる地域社会づくりを目指すことを目的として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

開催予定日	10月23日（土）中止
開催予定場所	アスパル

■福祉団体の事務および活動支援（推進目標2／つながる）

老人クラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、遺族会、ボランティア連絡会、介護者の会の事務局として、各種団体の運営・活動支援を行いました。

■地域見守り訪問事業の推進（推進目標1／きづく、推進目標3／ささえあう）

敬老の日発祥の町多可町として敬老の精神を広めるために、80歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアや地域福祉推進委員が誕生月に訪問し、健康と長寿のお祝いに花を届けました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度訪問者数	133名	58名	52名	243名
前年度訪問者数	115名	62名	58名	235名

※4月～6月、8月～9月の新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令中、1月～3月のまん延防止等重点措置発令中は、職員が玄関先に花を届けた後、電話で困りごと等の聞き取りを行いました。

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■地域福祉活動助成事業の推進（推進目標3／ささえあう）

町内の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体・グループに助成を行うことで、住民主体の地域福祉活動の充実・活性化を図り、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めました。また、助成団体の活動内容を社協だより多可やかテレビなどで紹介し、活動の支援や周知を図る予定としています。

	団体数	助成額
今年度実績数	5団体	200,000円
前年度実績数	6団体	240,000円

助成団体	助成額
いこいの家「紫陽花」	30,000円
西脇点訳友の会	30,000円
多可町介護者の会	40,000円
ちよいボラグループやちよお助け隊	50,000円
たか手話サークル	50,000円

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■福祉機器貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

在宅で介護を要する人を対象に、福祉機器を無料で貸し出し、在宅での療養生活の利便を図りました。要介護者や身体障がい者については、介護保険サービス、日常生活用具給付事業及び補装具費支給事業を優先します。

貸出品名	介護用ベッド	車いす・スロープ
貸出最長期間	3ヶ月間	6ヶ月間

	介護用ベッド	車いす	スロープ
今年度貸出件数	0件	84件	4件
前年度貸出件数	0件	75件	4件

財源	社協会費
----	------

■福祉車貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

車いすやストレッチャーを使用しないと外出できず、かつ家庭において運転ができる家族がある人を対象に、福祉車を貸し出し、医療・保健・福祉等の利用の便を図りました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	13名	8名	9名	30名
前年度登録者数	15名	14名	8名	37名
今年度利用件数（町内）	42件	34件	9件	85件
前年度利用件数（町内）	22件	18件	21件	61件
今年度利用件数（町外）	17件	30件	10件	57件
前年度利用件数（町外）	19件	23件	16件	58件

財源	社協会費
----	------

■ふれあい型給食サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

調理が困難で見守りが必要なおおむね65歳以上の高齢者のみの世帯等を対象に、ボランティアが調理した給食を届けました。地域包括支援センターや民生委員児童委員などと連携を図るとともに、見守りシートの回収をとおして、利用者の健康状態や不安の把握など見守り活動を促進しました。

	中区	加美区	八千代区
調理場所	中プラザ	交流会館	八千代プラザ
実施日	毎週木曜日		
利用料／食	200円		
今年度実施回数	48回		
前年度実施回数	48回		

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	54名	22名	24名	100名
前年度登録者数	47名	30名	18名	95名
今年度配食数	1,618食	781食	750食	3,149食
前年度配食数	1,735食	1,015食	775食	3,525食
今年度平均配食数	33.7食/回	16.3食/回	15.6食/回	65.6食/回
前年度平均配食数	36.1食/回	21.1食/回	16.1食/回	73.4食/回
今年度調理ボランティア数	45名	33名	44名	122名
前年度調理ボランティア数	38名	41名	36名	115名
今年度配送・回収ボランティア数	54名	71名	117名	242名
前年度配送・回収ボランティア数	61名	76名	141名	278名

※5月～7月、8月～9月の新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令中と解除後の準備期間、1月～3月のまん延防止等重点措置発令中と解除後の準備期間は、業者による弁当を職員が配布し、見守りシート回収の代わりに職員による電話での見守り活動を行いました。

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、利用料
----	---------------------------

■買い物ツアー事業の実施（推進目標4／ささえる）

外出しにくい、おおむね75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、区ごとに毎月1回、町内での買い物のための送迎と介助を行いました。

	中区	加美区	八千代区
実施日	毎月第3火・水曜日	毎月第4火・水曜日	毎月第2火・水曜日

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度実施回数	14回	11回	14回	39回
前年度実施回数	14回	14回	16回	44回
今年度登録者数	10名	15名	11名	36名
前年度登録者数	12名	18名	12名	42名
今年度利用者数	40名	40名	47名	127名
前年度利用者数	50名	71名	76名	197名
今年度ボランティア数	27名	34名	30名	91名
前年度ボランティア数	27名	52名	37名	116名

※4月～6月、8月～9月の新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令中、1月～3月のまん延防止等重点措置発令中は中止しました。

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金
----	-----------------------

■無料法律相談の実施（推進目標4／ささえる）

年12回、弁護士による無料法律相談を開催しました。また、年3回、町内有識者の協力を得て、調停等手続き相談を開催しました。

	無料法律相談	調停等手続き相談
開設月	毎月第4火曜日	7月、11月、3月（第1木曜日）
開設時間	午後1時～3時（1人30分）	午前10時～12時（1人30分）
開設場所	社協本部	社協本部

	無料法律相談	調停等手続き相談
今年度利用者数	37名	2名
前年度利用者数	39名	6名

※11月の調停等手続き相談は、申し込みがなかったため中止しました。

財源	善意銀行、歳末たすけあい募金配分金
----	-------------------

■外出支援サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

町からの受託事業として、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で、家族に車の運転できる人がなく、一般の交通機関を利用することが困難な人や下肢が不自由な人、視覚障がい者を対象に、医療機関等への送迎サービスを行い、在宅福祉の向上を図りました。

	中区	加美区	八千代区	視覚障がい者	合計
今年度登録者数	13名	10名	5名	5名	33名
前年度登録者数	15名	9名	8名	6名	38名

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用件数（町内）	142件	38件	46件	226件
前年度利用件数（町内）	115件	23件	49件	187件
今年度利用件数（町外）	395件	191件	32件	618件
前年度利用件数（町外）	404件	178件	44件	626件

財源	町受託金、日赤受託金、利用料
----	----------------

■資金貸付事業の実施（推進目標4／ささえる）拡充

生活問題を抱える世帯への援助として資金を貸し付け、世帯の生活の安定と向上を図りました。生活福祉資金は県社協の受託事業として、また、法外援護資金は多可町社協独自の貸付事業として実施し、両事業とも、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

生活福祉資金では、令和2年3月25日より新型コロナウイルス特例貸付が追加され、実施しました（令和4年6月30日で受付終了の予定）。

《生活福祉資金・法外援護資金共通》

今年度相談件数	948件
前年度相談件数	847件

《生活福祉資金》

	通常貸付	新型コロナウイルス 特例貸付
今年度貸付決定件数／合計貸付件数	5件／21件 (他、償還完了2件)	84件／198件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	1件／18件 (他、償還完了3件)	113件／114件

財源	県社協補助金、県社協受託金
----	---------------

《法外援護資金》

今年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／5件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／5件

財源	償還金、善意銀行
----	----------

■一時的食糧等給付事業（推進目標4／ささえる）

一時的に経済難に陥った生活困窮者への支援として食糧等の生活に必要な現物の給付を行い、その世帯の自立を促し円滑な社会生活が送れるよう支援しました。多可町社協独自の事業として、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

	今年度	前年度
相談件数	37件	44件
利用件数	3件	3件
給付金額	17,817円	12,377円

財源	善意銀行
----	------

■新型コロナウイルス特例フードドライブ事業（推進目標4／ささえる）追加・新規

家庭などで余った食品を集め、新型コロナウイルスの影響を受けて就労収入が減少したことにより困っている世帯に対しての食品提供支援を行いました。緊急事態宣言の発令に合わせ、6～7月に食品の募集を合わせた1回目、9月に食品提供支援のみの2回目を行いました。

	給付者数	食品提供者数
1回目（6～7月）	22世帯46名	23名
2回目（9月）	8世帯19名	—

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■食料品の配布（推進目標4／ささえる）追加・新規

生活に困っている世帯を対象に、寄贈された食料品を配布しました。

	給付者数	食品寄贈団体
1回目（12月）	43世帯84名	コープこうべ等
2回目（2月）	8世帯23名	ワーカーズコープ

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■日常生活自立支援事業の推進（推進目標4／ささえる）

県社協からの受託事業として、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立生活が送れるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などの援助を行いました。また、事業が地域により浸透するよう、サービス内容の周知に努めました。

利用料／時間	1,200円（交通費は実費負担）
--------	------------------

	今年度	前年度
相談件数	249件	231件
契約者数	4名	7名
派遣回数	117回	58回

財源	県社協受託金、利用料
----	------------

■ふとん丸洗いサービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

布団が干しづらく、在宅で生活されている75歳以上の高齢者のみの世帯の要介護認定「要介護1～4」「要支援1～2」の方、要介護認定「要介護5」の方、身体障害者福祉手帳「1級」の方、家族介護用品給付事業で「おむつ」を申請されている方を対象に、利用者が使用している布団の丸洗いを行い、快適で衛生的な生活を支援しました。

利用者一人につき掛布団・敷布団・掛毛布・敷毛布をそれぞれ1枚ずつ、補助は1人7,000円までとし、超えた額は個人負担として行いました。

	回収日	返却日
実施日	6月1日（火）、2日（水）	6月15日（火）、16日（水）

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用者数	20名	7名	8名	35名
前年度利用者数	22名	12名	5名	39名
今年度平均利用額	—	—	—	6,072円
前年度平均利用額	—	—	—	6,346円

財源	社協会費
----	------

■歳末慰問事業（推進目標4／ささえる）

歳末たすけあい募金を行い、要援護世帯や認知症の方など、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方に慰問金を贈りました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施しました。

《個人慰問》

		中区	加美区	八千代区	配分額
A	生保受給世帯	21世帯	6世帯	3世帯	150,000円
B	準生保世帯	13世帯	11世帯	14世帯	240,000円
C	高齢者独居	53世帯	46世帯	26世帯	625,000円
D	高齢者世帯	10世帯	8世帯	9世帯	135,000円
E	母子世帯	17世帯	8世帯	5世帯	150,000円
F	父子世帯	1世帯	0世帯	1世帯	10,000円
G	寝たきり（在宅）	2世帯	2世帯	1世帯	25,000円
H	重度障がい者（在宅）	6世帯	3世帯	2世帯	55,000円
I	認知症（在宅）	2世帯	2世帯	0世帯	20,000円
合計		125世帯	86世帯	61世帯	1,410,000円

《施設慰問》

施設名		配分額
NPO法人	あきら多可	50,000円
	すまいる	50,000円
	c a m b i o	50,000円
	みどり会	50,000円
	ネクスト	50,000円
	やちよ	50,000円
	E s p o r t e	50,000円
合計		350,000円

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■児童安全対策事業（推進目標4／ささえる）

新小学一年生に安全対策としてヘルメットを寄贈しました。

寄贈数	113名
-----	------

財源	善意銀行
----	------

■介護事業（推進目標4／ささえる）

事業所名	事業内容	今年度	前年度	
居宅介護支援事業 （ケアプラン）	ケアプラン件数	1, 999件	2, 100件	
	介護予防プラン件数	184件	276件	
	認定調査件数	96件	60件	
	実態把握件数	61件	69件	
	認知症相談センター相談件数	17件	16件	
	認知症初期集中支援チーム参加回数	12回	11回	
通所介護事業 （デイサービス）	稼働日数	313日	310日	
	延べ利用者数	7, 229名	7, 631名	
	1日あたり利用者数	23.1名	24.6名	
	転倒予防教室	23回	25回	
生きがい活動支援通所事業	延べ利用者数	123名	130名	
毎日給食サービス事業	延べ配食数／利用者数	162食/4名	169食/2名	
生きがい発揮事業（ふれあい事業）	延べ利用者数／回数	中止	中止	
訪問介護事業 （ホームヘルパー）	訪問介護回数	9, 111回	9, 660回	
	訪問入浴回数	126回	51回	
	障害サービス 回数	居宅	2, 004回	2, 124回
		移動	149回	168回
		同行（ガイド）	145回	144回
	軽度生活支援回数	102回	97回	
	養育支援回数	182回	294回	
	計画相談件数	9件	27件	
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	入居率（入居者数／日）	8.2名	8.5名	
	グループホーム運営推進会議	6回	6回	

■地域福祉推進委員会の機能強化（組織強化）

住民が主体となり、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉推進委員会の開催を支援しました。地域福祉推進委員は、住民の代表で構成されています。

	開催回数	内容
合同会議	1回	・支部ごとの進捗状況の説明 ・第4次地域福祉推進計画の説明
中支部地域福祉推進委員会	2回	・s-cubeの利用者・支援員からの話 ・障害者施設への取材の検討 ※委員会の開催の他、障害者施設6施設への取材を行い、社協だより多可で紹介。
加美支部地域福祉推進委員会	1回	・白妙菊の副読本作成の方向性
八千代支部地域福祉推進委員会	2回	・令和3年度の取り組み ・地域見守り訪問 ・学習会（研修会）の内容 ※委員会の開催の他、生活支援体制整備事業研修会に参加。

財源	社協会費
----	------

■災害救援マニュアルの推進（組織強化）

町内において地震、風水害その他の災害が発生した時に、災害救援活動を効果的、かつ円滑に実施できるように、令和4年度の改訂に向けて検討しました。具体的には、想定される最大の被害状況、被害件数から1日に必要な災害ボランティアニーズを算出し、それを受け入れることのできる災害ボランティアセンター設置場所等を検討しました。

■地域福祉推進計画の策定（組織強化）

令和2年度に策定した第4次地域福祉推進計画を発行し、地域住民や関係機関等への周知を図りました。

財源	社協会費
----	------

■職員会議の開催（組織強化）

定期的に職員会議を開催し、職員間での情報共有を図り、社協活動のスムーズな運営体制を築きました。

- ・職員会議 2回（10月1日、3月25日）

※6月、12月の職員会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

■職場内外研修会の実施と参加（組織強化）

職場内では、職員会議と兼ねて勉強会を実施し、職員の資質向上に努めています。

職場外では、新型コロナウイルス感染予防のため、各種ウェブ（Web）での会議や研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップと他市町とのネットワークづくりに努めました。

■関係機関との連携強化、情報共有（組織強化）重点

情報共有による効率的な事業展開を図るため、関係機関との連携強化、情報の発信と受信、定期的な連絡・調整会議を開催しています。多可町地域共生推進協議会、地域ケア会議やケース検討会などの専門機関会議へ参加しました。

■社協会員への協力依頼（組織強化）

一般会員・賛助会員・団体会員で組織された会員制度を広く周知し、会員加入の促進を図っています。

	今年度	前年度
一般会費	5,517,000円	5,550,000円
賛助会費	285,000円	294,000円
団体会費	90,000円	90,000円
合計	5,892,000円	5,934,000円

■財源確保と情報公開（組織強化）

多様性に富んだ福祉事業を展開するため、社協だより多可やチラシなどで会費・共同募金等の啓発活動を行いました。共同募金配分金や善意銀行預託金の有効活用の検討を行い、使途の明確化を図りました。受託事業については、事業に見合う適正な委託金を行政へ要望しました。

・善意銀行（組織強化）

	今年度	前年度
金銭預託件数／金額	102件/2,209,976円	78件/1,712,139円
物品預託件数／内容	3件/紙おむつ等 マスク、車いす	3件/商品券・マスク

■理事会・評議員会等の開催と研修会の実施（組織強化）

- ・理事会 2回（6月4日書面決議、6月22日、12月7日、3月16日書面決議）
- ・評議員会 3回（6月22日、12月15日、3月23日）
- ・正副会長会 5回（5月19日、5月27日、9月21日、12月2日、3月10日）
- ・評議員選任・解任委員会 2回（6月9日、3月16日）

■その他

- ・「トライやる・ウィーク」の受け入れ…新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施形態が変更となり、受け入れなし。
- ・ソーシャルワーク（相談援助）実習生の受け入れ…神戸学院大学学生1名（8/10～9/24）
- ・社協新型コロナウイルス感染症防止対策会議等周知… 19回

○職員対応

全職員は、手洗い、うがいの励行、マスクの着用、出勤前に体温検測、出勤時に職員体温記録表に記載の徹底を行いました。

○介護事業課（各事業所）

利用者及び入居者の体調確認と管理を徹底し、毎朝の検温・マスクの着用・対面食事の中止・1ケア1消毒・交流事業の中止等、感染予防対策をしながらサービス提供を行いました。